

ICU/CCUオープン!



はじめに

当院は栃木県救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、基幹災害拠点病院、地域周産期母子医療センターなどの指定を受け、他院では治療が困難な重篤な患者さんを受け入れる高度急性期病院としての役割を果たしています。これからもさらに安全で質の高い急性期医療を提供していくため、ICU/CCU（集中治療室）が今年8月にリニューアルオープンしました。

ICU/CCUの特長

- ✓ 広 さ：1410㎡
旧ICU/CCUは約635㎡
 - ✓ ベッド：18床
(個室13床、オープンベッド5床)
旧ICU/CCUは16床
 - ✓ 設 備：全室にシーリングペンダント^{*}を設置、内2室には无影灯を設置
- ^{*}医用電源、医療ガス、各種情報ジャックなどが供給できる天井懸垂式アームシステム

清潔で安全な空間に

ICU/CCUで治療を受ける患者さんはベッドサイドで様々な処置が必要です。生命を維持するために大切な点滴ラインや気道確保のためのチューブが、抜けないよう注意が必要です。

今回のリニューアルで病室が広くなりました。十分なスペースが確保されたことにより、ベッドサイドでの処置を今まで以上に清潔で安全に実施できるようになりました。また、病室間に観察窓を設置することによって視認性が高まり、患者さんの観察がしやすくなりました。廊下も広く、3階手術室への直通エレベーターもあるため、術前術後のベッド移動もさらに安全でスムーズになりました。

集中治療科
主任診療科長

阿野 正樹

あ の ま さ き

山口県出身。
当院には平成27年入職。
前任の自治医大救命救急センター勤務から数えて栃木県の急性期医療に携わって14年となります。県民の皆さまの健康と生活を守るため微力ながらこれからも力を尽くしたいと思います。よろしくお願ひします。



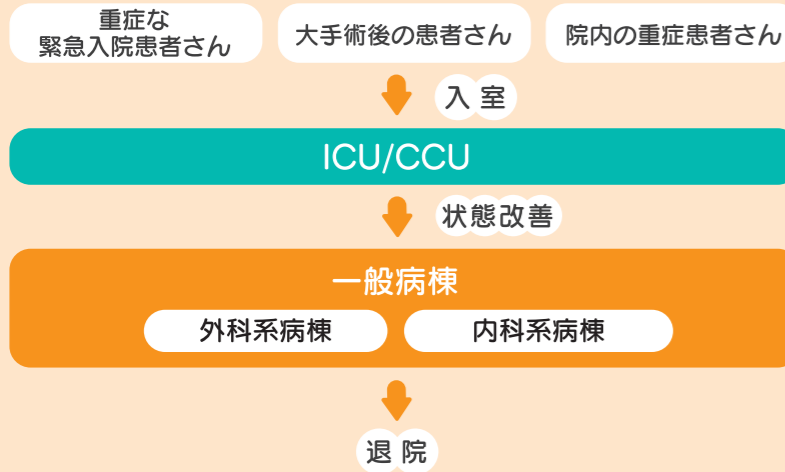
どんな患者さんが入室するの？

ICU/CCUには内科や外科など診療科に関係なく、一般病棟では治療が困難な重症疾患や重症外傷、中毒、心肺停止蘇生後、大手術後など様々な重症患者さんが入室します。血圧や心拍、酸素飽和度、心電図などを24時間連続モニターし、人工呼吸や人工心肺（心臓を補助する装置）、持続血液透析などの特殊な治療が可能です。

早期回復のために

毎朝、主治医、集中治療科医師、看護師、薬剤師、理学療法士による多職種カンファレンスが行われ治療方針が決定されます。集中治療を必要とする重篤な患者さんは、病気が治った後も身体機能や認知機能が低下し、寝たきりになってしまうことも少なくありません。そのため、元の生活に戻ることを目標に早期からのリハビリにも取り組んでいます。

ICU/CCU 患者さんが退院するまで



多職種カンファレンスの様子



おわりに

十分なスペースを持つ先進的なICU/CCUが完成しました。重篤な患者さんの命を救うことはもちろん、退院後の生活まで見据えた質の高い集中治療を提供できるよう、スタッフ一同努力して参ります。

病室



シーリングペンダント

无影灯

家族控室



説明室

